

## 長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

### 1. 第三者評価機関名

医療・福祉ネットワークせいわ

### 2. 事業者情報

名称： 鹿町野の花幼児園	種別： 保育所（認定こども園）
代表者氏名： 園長 日高 しおり	定員（利用人数）： 保育園部70名 幼稚園部20名（82名）
所在地： 〒859-6145長崎県佐世保市鹿町町土肥ノ浦87-1	Tel（0956）65-3311

### 3. 総評

#### ◇特に評価の高い点

#### I. 豊かな自然の中で、理念・方針・保育目標に基づいた保育が実践されています。

田園や山々の風景に、四季の移り変わりを体感できる環境の中で、姉妹園共通の保育目標（「健康で明るく、何事もやり抜こうとするたくましい子ども」）を掲げ、「目くばり・気くばり・親ごころ」という保育者の姿勢で、日々の保育に取り組まれています。

近くの牛小屋までの散歩や田畑での花摘、松浦鉄道を利用した春の歓迎遠足、伝統行事など、地域性を活かした保育に取り組まれながら、一方では外部講師による体育教室や英会話、絵画、剣舞、茶道、水泳教室など、様々な活動にも取り組まれており、漢字絵本遊びや、数や文字の学習などの場面では、じっくりと取り組む子どもたちの姿が見られ、保育目標に向けての保育の実践をうかがい知ることができました。

#### II. 家庭と連携しながら食育への取り組みが進められています。

野菜や果物の栽培から収穫を通じて、食材やそれを育てる人たちへの感謝の心を育む取り組みが行われています。食育ボードの活用や、年齢に応じた形状の箸の使用など、食に興味を持つことや食事マナーの習得にも取り組まれており、訪問時には、心地よい音楽の中で、子どもたちが自分たちで作ったランチョンマットを使って給食を食べている姿や、遊びを通じて箸の持ち方を覚えている様子も見受けられました。

また、給食サンプルの展示のほか、食育アンケート調査や保護者向けの給食試食会などにも取り組まれており、食事に関する家庭との連携にも力を注がれていることがうかがえました。

#### III. 地域の子育て支援を園の役割に掲げ、積極的に取り組まれています。

園庭開放や地域の会合への参加、関係機関との連携などにより、地域の子育てニーズが把握され、育児講座の開催など園が持つ専門機能を地域に還元する取り組みが行われています。

町の次世代育成計画の策定に園長自身が参画されるなど、地域の子育て支援に対して積極的な姿勢も見受けられます。

民営化、認定こども園への移行、園舎の建て替え（現在建築中）と、大きな転換を選択し実現されていることから、経営者及び園長の子育て支援に対する熱い想いと強いリーダーシップが感じられ、希望と目標を共有しながら地域の子育て支援を担っていこうという職員の熱意も伝わってきました。

◇改善を求められる点

**I. 新園舎建築中の安全管理について更なる配慮を期待します。**

災害時の避難場所として、新園舎の建築現場（当園敷地内）を指し示している避難経路図が見受けられました。園舎の建築には一定期間が見込まれるため、避難経路図の早急な見直しなど細やかな配慮を期待すると共に、新築後の安全管理体制や仕組みへのスムーズな移行についても今後の取り組みを期待したいところです。

**II. 利用者満足の上に向けての姿勢や仕組みの浸透が図られることを期待します。**

保護者の意向の把握については、個別面談や意見箱のほか、行事後の意向調査及び食育に関するアンケート調査などが実施され、事業や保育に関する計画への反映及び改善活動につながられています。しかし、利用者（保護者）調査においては、「保護者の意向に関する定期的な調査」に関して、更なる取り組みが必要といった結果が得られています。

今後は、利用者満足の上に向けた園の姿勢や仕組みが、より保護者に伝わるような取り組みも必要と言えます。

**III. 実習生の受け入れについて更なる取り組みを期待します。**

実習生の受け入れについては、その意義や方針、受け入れに関する責任体制、手順等を網羅したマニュアルが整備され、積極的に受け入れる姿勢も持たれていますが、民営化後の保育実習受け入れ実績は1名という状況です。地域的な問題や民営化して間もないことが影響していると推測されますが、次世代の地域子育て支援の担い手となり得る実習生の受け入れについては更なる積極的な取り組みを期待します。

4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

(H23.3.8)

本園は民営化・認定こども園への移行・園舎建て替え等、大きな転換を実現し、現在に至っております。その中で私たちが行っている保育は子ども達又、地域にとってどうあるべきなのかを見直す機会になればという思いから受審致しました。私達が取り組んでいることに高い評価を頂いた点もありましたが、日々、一生懸命を注いでいるつもりでもまだまだ改善が必要なところ、又、今以上に深く配慮しないといけない所等々、今後の課題として明確に位置づける事が出来ました。

そして、何よりも職員の意識の向上という点では、大変有意義なものになり、今後の保育の現場へと反映されることと思っております。

評価頂いた結果に甘んずることなく、地域の保育所としてあるべき姿、又、保育所職員として、今後どのような保育を行っていくべきであるかを、皆で考えながらこれからも「子どもの最善の利益」の為に力を注いでいきたいと思っております。

5. 各評価項目にかかる第三者評価結果

(別紙)

6. 利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)

# 評価細目の第三者評価結果（共通）

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	第三者評価結果
① 理念が明文化されている。	Ⓐ・b・c
② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>「母の願いを原点に・・・」という法人の理念の下、理想の子ども像を明文化した保育理念が掲げられ、それをより具現化するための項目として基本方針・保育目標が整理されています。それらは、地域社会のニーズに応じて柔軟に見直されており、園の目指す方向や使命について読み取ることが出来ます。また、ミッションステートメントとして、子ども、保護者、地域への関りと共に、保育者の目指す姿や使命が明文化され、事業計画書の中にも記されています。</p>	
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	第三者評価結果
① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・b・c
② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>理念や基本方針等は園内各所に掲示され、園だよりやパンフレットなどを通じて地域や保護者会での説明も行なわれるなど園内外への周知に努められています。職員に対しては入職時に資料を配付し、会議の場などでも確認されています。</p> <p>また、理念や基本方針等と併せて、「目くばり・気くばり・親ごころ」という言葉が随所に掲示されており、職員間で共有されると共に、保育の実践につなげるよう努められています。</p>	

### I-2 計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・一・c
② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・一・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>制度改革のみならず利用者のニーズも大きく変化する中であって、中・長期計画とそれを踏まえた事業計画が人材育成、施設整備、地域との連携と貢献などを含めて策定されています。</p>	
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	第三者評価結果
① 計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・b・c
② 計画が職員や利用者等に周知されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>策定にあたっては、保護者や職員から寄せられた意見などを踏まえて、職場改善委員会等による検討が行われ、半期ごとの見直しや年度末の検証など、現状分析と課題の抽出に基づく計画策定及び評価、見直しが行われています。</p> <p>周知については、保護者会や職員会議などにおいて事業計画を配付したうえでの説明が行なわれており、朝礼や個別指導などによる職員への周知状況の確認にも努められています。</p>	

### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・b・c
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>法人及び園の組織図や職務分掌表に組織における管理者としての立場、役割が明示され、口頭や文書においても自らの役割と責任を表明されています。法令等の遵守に向けても、研修会への参加や法令等のリスト化などから前向きな姿勢がうかがえます。</p>	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	第三者評価結果
① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>自らの保育経験に裏付けられた信念と情熱で、保育の質の向上や人材育成などにリーダーシップが発揮されており、職場改善委員会を組織化するなど、保育サービスの質の向上及び人事・労務・財務面での業務の効率化と改善に取り組まれています。</p>	

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 経営状況の把握

<b>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</b>	第三者評価結果
① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ・b・c
② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
③ 外部監査が実施されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>公立からの移譲、認定こども園への移行、施設の建て替えといったハード・ソフト両面における大きな移行の途上にある中で、町の次世代育成計画の策定に参画されたり、地域の会合などに出向いて近隣地区の情報を収集されたりと事業経営を取り巻く環境の把握に努められています。</p> <p>経営面に関しても、管理者として与えられた権限の中で、予算執行状況の把握や同一法人内の同種他施設との比較などを通じて課題の把握や職員との共有が図られており、コスト意識を持って運営にあたられています。また、外部の会計の専門家による指導も受けられています。</p>	

### Ⅱ-2 人材の確保・養成

<b>Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。</b>	第三者評価結果
① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・b・c
② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>地域的に人材の確保が困難といった課題を抱えながら、人材の確保、養成に努められています。職員の有する資格を把握し、資格や経験、特性などを考慮した人員配置に努めながら、限られた人材の中で子育て支援ファンリターナーや子育てマネージャーの養成、幼児教育の指導者としての人材育成を中・長期計画に掲げて取り組まれています。</p> <p>年2回行なわれる人事考課は、自己評価及び上司評価と併せて、上司との個別面談が行われ、自己を振り返り課題を抽出する機会に結びついています。</p>	
<b>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</b>	第三者評価結果
① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・b・c
② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>就業状況に関しては、有給休暇の消化率の把握のほかに、自己申告書による職員の希望や意向の把握が行われるなど就業に配慮する仕組みが見受けられます。また、医師による個別訪問産業保健指導を受けるなど、職員の心身のケアに対しても配慮が見受けられます。福利厚生については、法人で2種類の福利厚生事業に加入されており、職員の希望に応じて選択できる仕組みとされています。</p>	
<b>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</b>	第三者評価結果
① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・b・c
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	Ⓐ・b・c
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>職員の質の向上に関しては、職員育成マニュアルにおいて基本姿勢が明示されています。目標達成シートを用いた個別の目標管理の中で、職員の課題や修得すべきスキルなどを把握し、育成につなげるといった仕組みが構築されており、人事考課や自己申告書、目標管理制度により職員一人ひとりに着目した育成が図られていると言えます。</p>	
<b>Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。</b>	第三者評価結果
① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	Ⓐ・b・c
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>実習生の受け入れについては、マニュアルに受け入れの意義や方針、実習担当職員などが網羅され、積極的に受け入れる姿勢がうかがえます。地域的な問題や民営化して間もないことから、過去の受け入れ実績は1名という状況ですが、受け入れに際しては、養成校のねらいや実習生の希望などを踏まえた個別のプログラムに基づき実習が行われ、終了後の反省会も実施されています。今後は構築された仕組みを大いに活用して実習生を多く受け入れ、次世代の人材育成にむけて更に貢献されることを期待します。</p>	

### Ⅱ-3 安全管理

<b>Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。</b>	第三者評価結果
① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・b・c
② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>起こりうる様々な緊急時を想定し、安全確保のためのマニュアルの整備や訓練が実施されています。安全管理検討委員会や職場改善委員会なども定期的に開催され、保育の様々な場面でのリスクの把握や対策の検討が行われています。園内研修やチェックリストの活用で職員の意識の向上に意欲的に取り組む姿が、安全管理検討委員会等の議事録からも見受けられます。</p>	

## II-4 地域との交流と連携

<b>II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</b>	第三者評価結果
① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・b・c
② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・b・c
③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>民営化され、新たに地域との関係づくりに取り組む中で、民生委員等との関係構築や様々な地域行事への参加が行われています。また、小学校の芋ほりや中学生の職場体験、高校生の「すてきなパパママ」事業など、近隣の学校との関りにも意欲的に取り組まれています。それらの取り組みからは、地域と協働しながら子育て支援に取り組んでいこうという姿勢を感じ取ることが出来ます。</p> <p>ボランティアに関しては、受け入れマニュアルに基づき行事や日常の保育などへの計画的な受け入れが見られます。</p>	
<b>II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</b>	第三者評価結果
① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・b・c
② 関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>必要な社会資源については、関係機関や団体等のリストが整備され、連携に努められています。また、地域の関係機関との連絡会や児童相談所との連携、連絡協議会への参加などにより情報収集も行ないやすい関係が構築されています。</p>	
<b>II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。</b>	第三者評価結果
① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・b・c
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>園庭開放や民生委員等との定期的な会議を通じて、地域の福祉ニーズや子育てに関するニーズが把握されており、子どもたちが地域行事へ参加したり、園行事や育児講座などへ地域の人たちを招いたり、老人施設を訪問したりと積極的に地域と関わりを持つという取り組みが展開されています。</p>	

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

<b>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</b>	第三者評価結果
① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>子ども一人ひとりの人権を尊重する姿勢は、理念に基づき職員の行動規範の中にも盛り込まれています。また、プライバシー保護マニュアルや個人情報管理規程なども整備され、規定に基づく活動が行われています。</p>	
<b>Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。</b>	第三者評価結果
① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	Ⓐ・b・c
② 利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>利用者(保護者)調査の結果からは、「保護者の意向に関する定期的な調査」について、その取り組みが十分でないといった傾向が読み取れますが、個別面談や意見箱、行事後の意向調査及び食育に関するアンケート調査などによる意向把握は行われており、それに基づく必要な改善に向けての取り組みも見受けられます。利用者調査の結果には、民営化して2年目ということで、その周期性に疑問が生じた可能性もありますが、利用者満足の上昇に向けての姿勢や仕組みの保護者への浸透に関しては、今後の更なる積極的で継続的な取り組みが重要であると考えます。</p>	
<b>Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</b>	第三者評価結果
① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・b・c
② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・b・c
③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>苦情に関しては、苦情対応マニュアルに基づき職員間で共有され、結果については園便りでの保護者への公表も行われています。</p>	

### Ⅲ-2 サービスの質の確保

<b>Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。</b>		第三者評価結果
① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。		Ⓐ・b・c
② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。		Ⓐ・b・c
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。		Ⓐ・b・c
<b>評価調査者コメント：</b> 園としての第三者評価への取り組みは、今回が初めてではありますが、同一法人内の同種別事業所の第三者評価への取り組みが法人内で共有化され改善活動に結びついています。定められた評価基準を用いた自己評価を定期的に実施するための体制としては、職場改善委員会が設置されており、訪問時には評価・分析に基づく改善活動が重ねられている状況がうかがえました。		
<b>Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。</b>		第三者評価結果
① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。		Ⓐ・b・c
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		Ⓐ・b・c
<b>評価調査者コメント：</b> 標準的な実施方法については、細やかな配慮点などを含めたマニュアルが各種整備され、保育内容検討会やケース会議などで検証と必要な見直しが行われています。		
<b>Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。</b>		第三者評価結果
① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。		Ⓐ・b・c
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。		Ⓐ・b・c
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。		Ⓐ・b・c
<b>評価調査者コメント：</b> サービス実施状況の記録に関しては、子どもの発達状況などが見やすく、職員による内容のバラツキが生じないようにフォーマットを工夫されており、主任や園長による指導も行われています。記録の管理についても、マニュアルに沿った運用がなされており、保管については施錠管理の徹底に努められています。職員間の情報の共有化については、ケース会議を含む各種会議や朝礼などで行われており、記録に関しては、必要に応じてクラス担当以外の職員の閲覧も可能とされています。		

### Ⅲ-3 サービスの開始・継続

<b>Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。</b>		第三者評価結果
① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。		Ⓐ・b・c
② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		Ⓐ・b・c
<b>評価調査者コメント：</b> ホームページや要覧(パンフレット)で、理念や基本方針、園の保育内容などについての情報がわかりやすく提供されており、紹介ビデオなども準備されています。入園に際しても入園のしおりなどの資料を配付した上で口頭による細かな説明に努め、入園申込書により承諾されサービスが開始されています。		
<b>Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。</b>		第三者評価結果
① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。		Ⓐ・b・c
<b>評価調査者コメント：</b> 卒園や転園にあたっては、保育要録による情報提供のほか、その後の育児相談などが気軽に出来るように「お別れカード」を用いた取り組みが行われ、子どもの育ちが次の施設でもなめらかに継続できるようにとの配慮がうかがえます。		

### Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

<b>Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。</b>		第三者評価結果
① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。		Ⓐ・b・c
② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。		Ⓐ・b・c
<b>評価調査者コメント：</b> 統一されたフォーマットを用いて、入園時にアセスメントが行われ、定期及び随時に必要事項が追記されています。アセスメントにより抽出された課題は、個人記録に特記事項として明記され、サービス実施計画に反映されています。		
<b>Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。</b>		第三者評価結果
① サービス実施計画を適切に策定している。		Ⓐ・b・c
② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。		Ⓐ・b・c
<b>評価調査者コメント：</b> アセスメントにより抽出された課題のほかに保護者の意向などを踏まえて、一人ひとりの個別指導計画が立てられています。指導計画は、保育内容検討会やカリキュラム会議、職員会議などを経て策定され、定期的に保育内容の評価、検討、見直しも行われています。		

# 評価細目の第三者評価結果（保育所）

## A-1 子どもの発達援助

<b>1-(1) 発達援助の基本</b>	第三者評価結果
① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	Ⓐ・b・c
② 指導計画に基づく保育実践の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画の見直しを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>保育課程は、保育の基本方針に基づき、地域の実態や保護者の意向を考慮して作成されています。指導計画は、カリキュラム委員会等において保育業務マニュアルに基づき月1回以上の評価が行なわれ保育の実践に活かされています。</p>	
<b>1-(2) 健康管理・食事</b>	第三者評価結果
① 登所（園）時や保育中の子どもの健康管理については、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施されている。	Ⓐ・b・c
② 健康診断の結果や子どもの発達発育状況を、保護者に伝達すると共に、職員に周知し、保育に反映させている。	Ⓐ・b・c
③ 歯科検診の結果を、保護者に伝達すると共に、職員に周知し、保育に反映させている。	Ⓐ・b・c
④ 食事を楽しむことができる様々な工夫を行っている。	Ⓐ・b・c
⑤ 子どもの成長過程における喫食状況等を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	Ⓐ・b・c
⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	Ⓐ・b・c
⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、家庭や専門医等と連携し、子どもの状況に応じ、適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>健康管理に関しては、マニュアルが整備され、朝の健康状態の記録や口頭、朝礼ノートにより、子ども一人ひとりの健康状態の共有が図られています。健康診断や歯科検診の結果については、お便りノートや別紙で保護者に通知されており、4、5歳児は毎日、音楽に合わせてのフッ素洗口にも取り組まれています。</p> <p>給食には子どもの手作りランチョンマットが使用され、心地よい音楽とともに食事を穏やかに楽しむ姿が見受けられました。行事を通してのバイキングや全体的な会食会も行われるなど、食事を楽しむための取り組みも行われています。成長過程に応じた食事の提供についても、保護者と連携を取りながら家庭での状況を踏まえ段階的な離乳食の提供などに努められています。おやつに関しても手作りのものが中心で、スキムミルクケーキや芋だんごなどのおやつメニューからは、栄養面への配慮とこだわりが感じられました。その他、年齢にあわせて箸の形状を選ぶなど、握りやすさや食べやすさに対する配慮や工夫も見受けられました。食事に関する家庭との連携についても、食育アンケートの実施や給食サンプルの展示、保護者の給食試食会などが行われ、食育における家庭との連携が図られています。アレルギー疾患に対しては、医師の指示に基づき家庭と連携しながら、子どもの心理面にも配慮した除去食の提供が行われています。</p>	
<b>1-(3) 保育環境</b>	第三者評価結果
① 子どもが心地よく過ごすことのできる換気、温度、採光等の環境を整備している。	Ⓐ・b・c
② 生活の場に相應しい、人、物、場が相互に関連し合う環境とする取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>施設が古く（現在、新園舎建築中）、ハード面において問題が散見されますが、カーテンやブラインド、温湿度計の活用など、子どもたちが心地よく過ごすことへの心配りが見受けられます。遊具等も定期的に点検され、安全な環境作りにも取り組まれています。人的な面においても、子どもの睡眠リズムに応じて、子育て支援室の担当職員が寄り添い、安心して眠れるように配慮されるなど柔軟な対応が見られます。</p>	

1-(4) 保育内容	第三者評価結果
① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	Ⓐ・b・c
② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	Ⓐ・b・c
③ 子どもが自発的に活動できる空間、時間、物等の環境が整備されている。	Ⓐ・b・c
④ 身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている。	Ⓐ・b・c
⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	Ⓐ・b・c
⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	Ⓐ・b・c
⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	Ⓐ・b・c
⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	Ⓐ・b・c
⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・b・c
⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、乳幼児が安心して生活できるよう、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・b・c
⑪ 障害児保育のための適切な環境が整備され、障害のある子どもへの関わりなどが保育計画の中に位置付けられ、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>保育に関しては、子どもの発する言葉を無条件に受け止め、子どもの思いが出やすい様な言葉かけに努められています。シャワー使用時には、パーテーションを使用するなど、子どもたちのプライバシーや羞恥心へも配慮され、人権に関する研修にも取り組まれています。また、子どもたちの自発的な活動が可能となるような時間と空間が設定されており、ハサミに関しては安全面への配慮から一斉管理が行なわれていますが、基本的に保育室には年齢を考慮した玩具や素材、絵本などが置かれ、子どもが使用したい時にすぐ使用できるように用意されています。漢字絵本を取り入れた保育や年長児は文字や数の学習にも取り組んでおり、子ども達が教えあったり、たずねたりと、きらきらと輝いて学習に集中している様子が見られました。近くの牛小屋へ散歩に出かけたり、園の周りの田畑で花を摘んだり、お別れ遠足に松浦鉄道を利用したり、伝統行事を保育の中に取り入れられたり、地域性を活かした保育にも取り組まれています。</p> <p>持ちものや園のスモックなどは男女関係なく自由に色を選べ、性差での区別は行わないように配慮されています。SIDSに必要な知識が職員に周知され、チェックシートを活用して午睡中の定期的なチェックも行われています。長時間保育には畳のある保育室が確保され、ゆったりとした家庭的な環境で過ごせるような配慮が見受けられます。障がいを持つ子どもに対しては、保育士を追加配置し、個別支援計画に基づきその子の状態に応じた保育の実践に努められています。</p>	

## A-2 子育て支援

2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	第三者評価結果
① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	Ⓐ・b・c
② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	Ⓐ・b・c
③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と、子どもの育ちを共有するための機会を設けている。	Ⓐ・b・c
④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	Ⓐ・b・c
⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>個別面談表などから、一人ひとりの保護者と積極的に情報交換を行う姿勢がうかがえます。また、記録にばらつきが生じないように保育記録や朝礼ノート、受け入れ簿に確実に記録を残し全職員での共有が図られています。保護者会や保護者の保育見学、保育体験、随時の育児相談など、子どもの発達や育ちなどについて共有する取り組みが行われています。</p> <p>虐待に関するマニュアルの整備とともに、地域の関係機関とは土・日や祭日にも連絡がとれるような関係が構築され、ケース会議等による話し合いも行われています。</p>	
2-(2) 一時保育等の子育て支援	第三者評価結果
① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	Ⓐ・b・c
② 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みが行われている。	Ⓐ・b・c
③ 保育所での育児相談に当たって、関係機関や団体などと連携した取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>一時保育については、経験を積んだ保育士を配置し、連絡ノートなどを通してその日の子どもの状態を把握した上で、別室での個別対応や同年齢の保育室での対応など臨機応変な関わりが見受けられます。</p> <p>地域の子育て家庭の支援にも積極的に、園庭開放や育児相談に応じる体制作りが行われています。</p> <p>看護師や栄養士、保育士による育児講座や、消防署と連携のもとで救命救急講座などを地域の子育て家庭に提供する取り組みも行われています。</p>	

A-3 安全・衛生・事故防止

3-(1) 安全・衛生・事故防止	第三者評価結果
① 防災に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
② 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
③ 安全を確保するための施設、設備上の工夫がなされている。	a・b・c
④ 衛生管理に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
⑤ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
⑥ 感染症防止に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
⑦ 感染症発生時に対応できるマニュアルが整備されると共に、その対応方法が全職員に周知されており、発生状況が保護者、全職員に通知されている。	a・b・c
⑧ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a・b・c
⑨ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a・b・c
⑩ 発生した事故並びに事故につながりそうな事例を全て把握するための組織的な取組が行われている。	a・b・c
<p>評価調査者コメント：</p> <p>安全・衛生・事故防止に関する各種マニュアルが整備され、園児を含めた教育、訓練や、園内外での職員研修などが行われています。年間計画に基づき、火災、地震、不審者などの対応を含む訓練や交通安全教育が実施され、不審者に関しては警察からの情報を玄関口に掲示したり、「さすまた」を準備するなどの対応策も確認できます。衛生管理面については、朝礼や会議でも注意事項などを全職員で確認し、看護師を中心に検討会も開かれています。安全・衛生・事故防止に関するそれぞれの取り組みは、朝礼や回覧、会議等で周知され、乳幼児の事故防止に関する研修が計画されていたり、リスクマネジメント会議などが開催されていたりと、積極的な取り組みが行われています。</p> <p>食中毒についての対応は給食職員が中心となり研修を受講して、その内容を他の職員にも周知するよう努められています。感染症発生時にはマニュアルに沿って園内掲示や口頭での具体的な情報提供がなされ、保健便りによる感染症の予防や対策に関する情報の提供も行われています。</p> <p>ヒヤリハット事例は、その都度、全職員への周知が図られ、リスクマネジメント会議での検討も行われています。事故発生などの検証を通して原因が究明され、保育のあり方検討会などで改善に向けた検討も行われています。</p>	

# 長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所）

評価機関名

医療・福祉ネットワークせいわ

事業所名称

鹿町野の花幼児園

調査の対象・方法

対象: 保育園部利用の35世帯(保育園部定員の70名の1/2)を評価機関において抽出  
 方法: アンケート調査  
 調査票配付: 事業所から保護者に配付  
 調査票回収: 対象者(保護者)によるアンケートBOX(評価機関設置)への投函

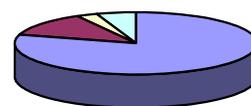
調査実施期間

平成22年11月12日～平成22年11月30日

利用者総数(人)	82
調査対象数(人)	35
有効回答数(人)	31
回収率(%)	88.6%

アンケート結果平均

はい	678件	79.6%
どちらともいえない	105件	12.3%
いいえ	24件	2.8%
わからない	45件	5.3%



総 評

今回は、当該制度において「保育所」としての評価となるため、調査対象を定員総数90名のうち保育園部定員70名の半数と設定し、35世帯の保護者に対してアンケート調査を実施しました。(対象者の選定は上述の「調査の対象・方法」欄を参照下さい。)

アンケートへの協力については、88.6%と非常に高い回収率となっており、保護者の園に関する関心の高さがうかがえます。

傾向としては、全体的に「いいえ」といった回答が少なく(「いいえ」の回答数24件のうち16件は「保育所の中で怪我をしたことがありますか。」という質問に対する回答)、肯定的な回答が非常に多く得られたと言えます。

詳細については、「職員の親切丁寧な対応」「サービスの標準化」「地域における子育て支援」「利用前の情報提供」「心地よく過ごせる雰囲気」「園外活動」「送迎時の対話・連絡帳」「健康状態の把握」など多くの質問で90%を超える肯定的な回答が得られており、保護者からの信頼を得られていることが読み取れます。

反面、「保護者の意向に関する定期的な調査」は半数近く「どちらともいえない」と回答されている状況が見られます。

全体的には、非常に肯定的な回答が多く、「その他自由意見」欄の中からも園の保育等に関する感謝や理解、期待が読み取れるコメントも多いといった結果が得られ、日々の取り組みについて保護者からの一定の評価が得られていると考えます。

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所）

事業所名称	鹿町野の花幼稚園		有効回答数	31人		
評価対象	No	質問項目	回答	回答数	(%)	
全サービス共通項目						
保育理念・保育方針	1	保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか。	はい		24件	77.4%
			どちらともいえない		7件	22.6%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
	2	【問1が「はい」の場合】保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか。	はい		21件	87.5%
			どちらともいえない		2件	8.3%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		1件	4.2%
	3	【問1が「はい」の場合】実際に利用してみて、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか。	はい		22件	91.7%
			どちらともいえない		1件	4.2%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		1件	4.2%
職員の対応	4	保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか。	はい		30件	96.8%
			どちらともいえない		1件	3.2%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
プライバシーへの配慮	5	「お子さんや自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか。	はい		23件	74.2%
			どちらともいえない		5件	16.1%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		3件	9.7%
利用者の意向の尊重	6	保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか。	はい		8件	25.8%
			どちらともいえない		14件	45.2%
			いいえ		3件	9.7%
			わからない		6件	19.4%
	7	困ったことを相談できる職員がいますか。	はい		25件	80.6%
			どちらともいえない		4件	12.9%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		2件	6.5%
苦情受け付けの方法等	8	苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか。	はい		23件	74.2%
			どちらともいえない		4件	12.9%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		4件	12.9%

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所）

事業所名称	鹿町野の花幼稚園		有効回答数	31人
不満や要望への対応	9	不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることができますか。	はい	23件 74.2%
			どちらともいえない	6件 19.4%
			いいえ	2件 6.5%
			わからない	0件 0.0%
	10	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。	はい	19件 61.3%
			どちらともいえない	5件 16.1%
			いいえ	1件 3.2%
			わからない	6件 19.4%
職員間の連携・サービスの標準化	11	あなたが要望したことが他の職員にも伝わり、理解されていますか。	はい	24件 77.4%
			どちらともいえない	3件 9.7%
			いいえ	1件 3.2%
			わからない	3件 9.7%
	12	保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか（職員によって言うことやすることに違いがありませんか）。	はい	28件 90.3%
			どちらともいえない	3件 9.7%
			いいえ	0件 0.0%
			わからない	0件 0.0%
地域における子育て支援	13	地域や家庭（保育所を利用していない家庭も含めた）の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか。	はい	28件 90.3%
			どちらともいえない	2件 6.5%
			いいえ	0件 0.0%
			わからない	1件 3.2%
事故の発生	14	お子さんが保育所の中で怪我をしたことがありますか。	はい	13件 41.9%
			どちらともいえない	1件 3.2%
			いいえ	16件 51.6%
			わからない	1件 3.2%
	15	【問14が「はい」の場合】怪我をした後の対応は適切でしたか。	はい	13件 92.9%
			どちらともいえない	1件 7.1%
			いいえ	0件 0.0%
			わからない	0件 0.0%
利用に当たっての説明【過去1年以内に利用を開始した場合】	16	この保育所を利用する前に、保育所での生活や保育の内容についてわかりやすい説明がありましたか。	はい	24件 96.0%
			どちらともいえない	0件 0.0%
			いいえ	1件 4.0%
			わからない	0件 0.0%
	17	実際に利用してみても、説明どおりでしたか。	はい	22件 88.0%
			どちらともいえない	3件 12.0%
			いいえ	0件 0.0%
			わからない	0件 0.0%

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所）

事業所名称		鹿町野の花幼稚園		有効回答数	31人	
個別サービス共通項目						
食事	18	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。	はい		26件	89.7%
			どちらともいえない		2件	6.9%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		1件	3.4%
施設的环境	19	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。	はい		28件	90.3%
			どちらともいえない		3件	9.7%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
	20	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていますか。	はい		21件	70.0%
			どちらともいえない		5件	16.7%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		4件	13.3%
保育内容	21	園外で身近な自然や社会に接する機会は多いですか。	はい		29件	93.5%
			どちらともいえない		2件	6.5%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		0件	0.0%
	22	お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。	はい		24件	77.4%
			どちらともいえない		3件	9.7%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		4件	12.9%
	23	異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか。	はい		25件	80.6%
			どちらともいえない		4件	12.9%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		2件	6.5%
24	お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか。	はい		24件	77.4%	
		どちらともいえない		4件	12.9%	
		いいえ		0件	0.0%	
		わからない		3件	9.7%	
保護者への育児支援	25	送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか。	はい		28件	90.3%
			どちらともいえない		2件	6.5%
			いいえ		0件	0.0%
			わからない		1件	3.2%
	26	子育てに関する気がかりな点や悩みについて、相談しやすいですか。	はい		27件	87.1%
			どちらともいえない		3件	9.7%
			いいえ		0件	0.0%
	27	保護者が参加しやすいように行事日程が組まれていますか。	はい		20件	66.7%
			どちらともいえない		9件	30.0%
いいえ				0件	0.0%	
わからない				1件	3.3%	

## 長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所）

事業所名称	鹿町野の花幼稚園		有効回答数	31人
健康管理	28	登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか。	はい	30件 96.8%
			どちらともいえない	1件 3.2%
			いいえ	0件 0.0%
			わからない	0件 0.0%
	29	インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか。	はい	26件 83.9%
			どちらともいえない	5件 16.1%
			いいえ	0件 0.0%
			わからない	0件 0.0%

### その他自由意見

- ・ 普段の生活やイベントなど本当によくして頂いています。今後も、のびのびと子供たちが成長していけるように指導をお願いします。
- ・ アットホームな感じで、いつも必ず笑顔でいる先生方たちには感謝しています。
- ・ いつも子供のことをよく見てもらっていて、とても感謝しています。これからも変わらず、面倒を見てもらうと助かります。
- ・ 町営から民営に移行する時は、多少の不安がありました。今では安心して子供を預けています。保育内容、先生方の対応、環境など全てにおいて満足しています。
- ・ 日頃より先生方には、良くして頂いています。感謝の言葉しかありません。
- ・ よく声をかけて頂き、園での一日の様子も話して下さいます。行事が終わった後に「どんなでしたか」など、私たちの意見も聞いて下さり、とても良くしてもらっていると感謝しています。
- ・ 自分の子が園に行くようになり少しづつ変わっていくのを見て、嬉しく思うことが多々あります。家にいても成長しない心や感情というのがあるのだと親として知ったこともあります。感謝する気持ちが、少しですが見えてきたときは有難く思いました。
- ・ 保育士さん一人ひとりが、子供、子育て、不安なことについて親身になって相談にのってくれます。子供を預ける不安が最初はありましたが、今は安心して野の花幼稚園で良かったと預けることができます。
- ・ 子供たちはいろんな体験ができ、楽しく過ごせているようです。先生方には連絡事項等の共有を徹底して頂きたいと思えます。
- ・ 運動会やお遊戯会などは、仕事の関係上、祝日ではなく土曜日・日曜日に設定いただければ助かります。その他は、親子共々大変満足しています。
- ・ この2年、先生方がプロ意識をもって保育に当たられているのを感じています。今年度から色々な活動を計画し、経験させてもらっているのは有難いのですが、もう少し内容をしばってゆっくりにくいのではないかと考えています。
- ・ 年長組になると「午睡は必要ないのでは」と思います。早寝、早起きで十分な睡眠時間が確保できていることが前提ですが、もう少し早い段階で午睡をなくしてもいいのではないかと考えています。
- ・ 幼児教育が一貫になっていますが、子供がきちんと理解できていないので、今の段階から理解能力に差がつき過ぎており、ほかの子と比べて不安になります。参観で見た限りでは、流れ作業のように学習が行われていて、ついていけない子はどんどん置いていかれるような気がします。
- ・ 姉妹園の方が良い日に行事が設定されているように思いました。お遊戯の時には、毎回主役をする子がいて、他の子がかわいそうに感じました。
- ・ 土曜日、私が休みの日に預けに行くと、先生によって嫌な顔をされる時があります。
- ・ 「両親共働きじゃないと子供は登園できない」と聞きましたが、仕事をしていないのに登園させている家庭があり、特別扱いではないかと疑問に思っています。

# 書面調査の概要

## 1. 事業者概要

事業所名称： 鹿町野の花幼児園	種別： 保育所(認定こども園)
代表者氏名： 園長 日高 しおり	開設年月日： 21年4月1日
設置主体： 社会福祉法人 蓮華園	定員： 保育園部70名 幼稚園部20名
経営主体： 社会福祉法人 蓮華園	利用人数： 82名 (59世帯)
所在地： 〒859-6145 長崎県佐世保市鹿町町土肥ノ浦87-1	
連絡先電話番号： 0956-65-3311	FAX番号： 0956-65-3321
ホームページアドレス： <a href="http://1717sakura.com/">http://1717sakura.com/</a>	

## 2. 基本情報

サービス内容(事業内容)： ○延長保育促進事業 ○乳児保育促進事業 ○保育所地域活動事業 ○障害児保育事業 ○一時保育促進事業 ○地域子育て支援	施設の主な行事： ○保育参観 ○祖父母参観 ○夏祭り ○親子バス遠足 ○運動会 ○お遊戯会 ○クリスマス会 ○芋掘り ○もちつき ○豆まき ○内科検診 ○歯科検診 ○避難訓練 ○交通安全教室 ○誕生会 ○身体測定				
施設設備の概要： ○保育室(4) ○浴室(1) ○便所(1) ○乳児ほふく室(2) ○調理室(1) ○子育て支援室(1) 一時保育室(1) ○遊戯室(兼) ○職員室(1) ○園庭(屋外遊戯場)					
職員の配置					
職 種	常 勤	非常勤	資 格	常 勤	非常勤
園長	1		保育士	14	
主任保育士	1		幼稚園教諭二級	13	
保育士	12		正看護師	1	
事務員(兼)	(1)		栄養士	1	
正看護師	1		調理師	1	
栄養士	1		介護福祉士	1	
調理師	1		医師		1
用務員	1		歯科医師		1
嘱託内科医		1			
嘱託歯科医		1			
合 計	18	2	合 計	31	2

※ 資格の種別は、保健・福祉・医療に関するものを表示しています。

※ 複数の資格を有される場合は重複計上しています。重複計上のため職種と資格の人数は一致しません。